

現在の日時・場所・予定を、必要な手がかりを使いながら確認する課題です。

氏名：	実施日：	実施場面：
-----	------	-------

やり方：分からない項目は無理に答えず、必要に応じてカレンダー・時計・予定表を見ながら確認します。

1 | いまの日時を確認しましょう

年： _____
月・日： _____
曜日： _____
時間帯（朝・昼・夕方・夜）： _____
季節： _____

2 | いまいる場所を確認しましょう

☐ 自宅	☐ 病院・施設
☐ 外出先	☐ その他：

ここにいる目的・予定： _____

実施者メモ（誤り方・手がかり・中断・疲労など）

外部手がかりを使って「今日・昨日・明日」と予定を結びつけます。

氏名：	実施日：	実施場面：
-----	------	-------

やり方：まず自分で答え、難しい場合はカレンダーや予定表を見ます。手がかりを使えたかも観察します。

1 | 今日を基準に書きましょう

今日： 年 月 日 () _____
昨日： 年 月 日 () _____
明日： 年 月 日 () _____

2 | 今日の予定を3つまで確認しましょう

時間	予定	場所・相手

3 | 次にすることを1つ選びましょう

次の予定： _____

実施者メモ（誤り方・手がかり・中断・疲労など）

日時・場所・予定の情報を組み合わせ、次の行動まで確認します。

氏名：	実施日：	実施場面：
-----	------	-------

やり方：本人が使っている手帳・カレンダー・病棟予定表など、実際の生活に近い手がかりを使って構いません。

1 | 今の状況を 1 文でまとめましょう

今日は _____

いま私は _____

2 | 予定を確認して順番を決めましょう

予定	時刻	場所	順番

3 | 予定の前に必要な準備を 1 つ書きましょう

準備すること： _____

実施者メモ（誤り方・手がかり・中断・疲労など）

このページは実施者向けです。紙面上の成績ではなく、反応と生活場面とのつながりを記録します。

位置づけ

本教材は rehabilikunblog が作成した非標準化の練習教材です。診断、重症度判定、カットオフ判定には使用しません。L1～L3 は本教材内の課題条件を整理するための区分で、すべての対象者で一律の難易度序列になることを保証しません。

この教材で見たいこと

時間・場所・予定に関する情報を、本人が利用できる外部手がかりと結びつけられるかを観察します。正誤だけでなく、手がかりを自発的に参照できるかを重視します。

L1～L3 で変えている条件

確認項目	内容
L1	現在の日時・場所を直接確認する
L2	昨日・今日・明日と予定表を結びつける
L3	複数の予定を現在の状況と次の行動へ結びつける

観察する反応

☐ 自発的にカレンダーを見る	☐ 同じ質問を繰り返す
☐ 曜日と日付のずれ	☐ 場所の取り違い
☐ 予定の保持	☐ 手がかり後の修正

生活行為へつなぐ例

- ・服薬・食事・入浴など1日の予定確認
- ・通所・外来日の確認
- ・部屋・トイレ・食堂など場所の確認
- ・手帳・カレンダーを使う習慣づくり

実施・記録上の注意

- ・誤答を強く訂正し続けず、不安や拒否が強い場合は中止・切替する
- ・視力・聴力、失語、教育歴、環境刺激の影響を考慮する。書字が難しい場合は口頭回答・指差し・実施者代筆へ変更可。回答方法を記録し、経時比較では同じ方法をそろえる
- ・見当識の正誤だけで生活能力を判断しない

最低限の記録

課題名・レベル／実施条件／誤り方／手がかりの種類と回数／中断・疲労／生活場面で確認したいこと

参考文献（本教材そのものの妥当性・有効性を示すものではありません）

日本作業療法士協会. 作業療法ガイドライン—認知症 増補版. 2025.

Kudlicka A, Martyr A, Bahar-Fuchs A, Sabates J, Woods B, Clare L. Cognitive rehabilitation for people with mild to moderate dementia. Cochrane Database Syst Rev. 2023;6(6):CD013388. doi:10.1002/14651858.CD013388.pub2.